

円山川公苑 CYCLING MAP

サイクリング マップ

このマップは、円山川公苑のホームページから印刷できます。

コウノトリが大空を舞う
山陰海岸
ジオパーク

マップ内の
レンタサイクルで
御来苑の皆様には
円山川公苑の
利用料金を
割引します!!

健康づくりに
サイクリングを!

消費カロリーが確認できる
円山川公苑周辺の歴史的景勝地を
自転車 or ウォーキングで巡ろう!!

豊岡みなとレンタサイクル
☎0796-28-3148
(フィッシャーマンスビル内)

木下レンタサイクル
☎0796-32-2259
(木下自転車店内)

ひだまりレンタサイクル
☎0796-29-6009
(Sunny Place「ひだまり」内)

城崎レンタサイクル
☎0796-32-4141
(お宿案内所内)

円山川公苑
☎0796-28-3085
maruyamagawa.com

200台の無料駐車場完備

- 美術館
- カヌー・カヤック・カッター体験
- インラインスケート
- サッカー・グラウンドゴルフ等
- 芝生広場
- プール(7月中旬～8月末)
- アイススケートリンク
(11月下旬～3月中旬)
- ウォーキング・自然散策
- 各種文化・スポーツ教室開催

絹巻神社 ↔ 瀬戸
距離 1.4 km
消費カロリー 34 kcal
所要時間 6 分
高低差 1 m

絹巻神社 ↔ 東山公園
距離 2.4 km
消費カロリー 56 kcal
所要時間 11 分
高低差 5 m

円山川公苑 ↔ 絹巻神社
距離 1.1 km
消費カロリー 35 kcal
所要時間 7 分
高低差 1 m

絹巻神社 ↔ 気比の浜
距離 1.1 km
消費カロリー 38 kcal
所要時間 6 分
高低差 4 m

気比の浜 ↔ 大師道
距離 1.2 km
消費カロリー 32 kcal
所要時間 7 分
高低差 5 m

大師道 ↔ 気比神社
距離 1.8 km
消費カロリー 48 kcal
所要時間 13 分
高低差 7 m

気比神社 ↔ 観正寺
距離 0.65 km
消費カロリー 29 kcal
所要時間 4 分
高低差 1 m

畑上 ↔ 三原分教場
距離 2.2 km
消費カロリー 96 kcal
所要時間 16 分
高低差 55 m

観正寺 ↔ 畑上
距離 2.5 km
消費カロリー 62 kcal
所要時間 12 分
高低差 7 m

飯谷 ↔ 畑上
距離 2.6 km
消費カロリー 117 kcal
所要時間 22 分
高低差 74 m

畑上 ↔ 重浪神社
距離 0.75 km
消費カロリー 32 kcal
所要時間 6 分
高低差 16 m

重浪神社
(お船岩)
ギボウシの群生

浮井天 ↔ 飯谷
距離 1.2 km
消費カロリー 29 kcal
所要時間 5 分
高低差 4 m

大橋東詰 ↔ 玄武洞
距離 3.8 km
消費カロリー 76 kcal
所要時間 7 分
高低差 4 m

18 至 玄武洞

円山川公苑
カヌーツアー
片道40分
実施日限定

大橋東詰 ↔ 浮井天
距離 0.65 km
消費カロリー 16 kcal
所要時間 3 分
高低差 0 m

ハチゴロウの
戸島湿地
(ラムサール条約湿地)
コウノトリ観察小屋

浮井天 ↔ 飯谷
距離 1.2 km
消費カロリー 29 kcal
所要時間 5 分
高低差 4 m

大橋東詰 ↔ 玄武洞
距離 3.8 km
消費カロリー 76 kcal
所要時間 7 分
高低差 4 m

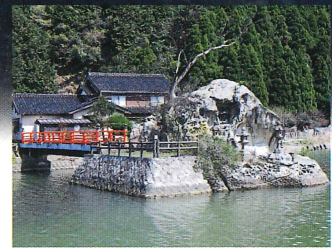
18 至 玄武洞

18 至 玄武洞

円山川公苑 周辺景勝地

1 円山川・津居山湾

円山川は日本海に流れ出る但馬最大の河川である。かつては入湯客を、城崎温泉まで運ぶ重要な運搬路だった。河川沿いの平野では農業が営まれている。津居山湾は、古代では中国大陸と日本との交流経路の玄関口の一つだった。江戸から明治時代は、北前船の寄港地で、漁業、造船業、鉱石・木材の入出港として発展した。



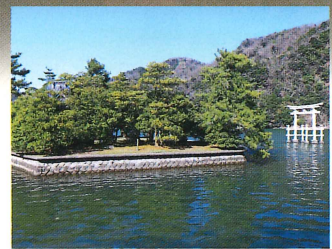
6 戒岩(恵比寿岩)

この戒岩の辺りは16C頃までは荒磯であった。磯にあった地形が波に侵食されて、浮島のような岩として残った。現在では、気比川河口にある浮島になっている。戒岩の窪みに戒(恵比寿)神を祀り、気比地区の漁業や商業の興隆を祈願している。川岸から朱塗りの御殿橋を渡る。



12 ラムサール条約湿地 ～円山川下流域・周辺水田～ コウノトリ観察小屋

日本にはラムサール条約の重要湿地が50ある。桑々浦を中心とした円山川下流域・周辺水田はその一つである。エリアは津居山湾から円山川豊岡橋までの流域で、気比の浜、田結湿地、気比・畑上の水田、桑々浦湾、ハチゴロウの戸島湿地、桃島地が含まれている。田結と戸島には特別天然記念物コウノトリの観察小屋がある。



17 浮弁天

昔、洪水時にも浸って水没しなかったので「浮弁天」と呼ばれた。「浮島」とも呼ばれる。ラムサール条約湿地の桑々浦湾に、石造鳥居が浮かび、風情のある景勝地である。円山川公苑から出発するカヌーツアーに参加すれば、40分で円山川を経由して浮弁天に着く。カヌーで鳥居をくぐるができる。このツアーは実施日が決まっている。予約が必要。問合せ：0796-28-3085



23 北但大震災記念碑 (津居山・田結)

1925(T14)年5月23日午前11時10分頃、円山川沖合が震源地の北但大震災が発生。約M7で、この地域は、死者37名、148戸焼失、309戸全壊、261戸半壊。被災者は人々の救援活動と義援金に勇気づけられ復興した。田結では、火災はなかったが断層亀裂(田結断層)が生じ、37名の内7名の死者があった。津居山と田結に震災記念碑がある。



7 観正寺・岩崎清光の ちくざんしきかれさんすいていえん 築山式枯山水庭園

観正寺には1807年に江戸の庭師の岩崎清光が造った築山式枯山水庭園がある。これは但馬で有名な三庭園の一つである。造園当時の日本では、植栽本位の庭園が多く造られ、石組み本位の築山式庭園は珍しかった。水墨画風の趣がある。見学したい場合は、事前に観正寺に問い合わせください。問合せ：0796-23-1111



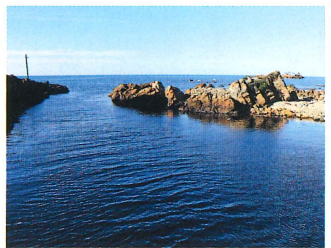
13 三原分教場

1911(M44)年2月に三原分教場が開校した。初めは年間通じて、後に冬だけの分教場になった。1930(S5)年に2階建になった。分教場は村の学校であり集会所だった。1978(S53)年11月末にスクールバスが運行され、開校68年で閉校になった。現在児童は気比にある港東小学校に通っている。分教場は現在も、昔のままの姿で、三原集落の集会所として使われている。



18 玄武洞

160万年前の火山活動でできた玄武岩が柱状節理となった。6000年前にこの辺りが波に侵食されて姿を現し、住民に採取されて洞になった。5つの洞がある。1807年に玄武洞と名付けられた。この岩石の和名は1884(M17)年に玄武岩と命名された。1931(S6)年に日本の天然記念物に指定された。1963(S38)年に山陰海岸国立公園になった。



24 瀬戸の切戸

日本の神話に出てくる天日槍(あめのひばこ)が瀬戸の切戸を開いたと伝わる。地元では、5C後半雄略天皇の時代に、西刀宿祢命(せとのすねのみこと)が切り開いたと伝わる。瀬戸の地名は西刀(せと)から来る。この頃、円山川河口は流れが悪く泥海で人の住む場所がなかった。彼は瀬戸の岩山を切り開き、泥水が海に流れるようにして、広大な大地を造ったという。



2 兵庫県立円山川公苑

美術館をもつ兵庫県北部の文化・スポーツの総合施設。3～11月はカヌー・カヤック・カッター、インラインスケート、サッカー、グラウンドゴルフ。7・8月はプール、11～2月はアイススケートができる。スポーツ・工芸・日本画・デッサン等の教室を開催している。散策・サイクリング・植物・動物の観察ができる。



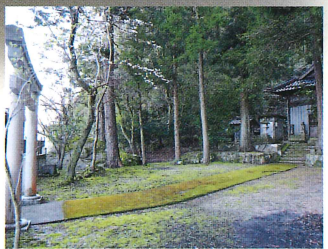
8 気比神社と花茗荷の群落・ けひどうたくしゅつどち 気比銅鐸出土地

709年創建。五十茶狭沙別別命(いさざわきのみこと)を祀る。境内には豊岡市指定天然記念物の花茗荷(はなみょうが)が群生する。6月上旬から中旬にピンク色の清楚な花が咲き、晩秋には深紅の実をつける。近くに、BC2C～BC1C頃の弥生時代に作られた祭りの道具である銅鐸4個が発見された出土地がある。現在は東京国立博物館に所蔵されている。



14 重浪神社・ しぎなみじんじゃ ギボウシの群生

畑上集落の一番奥にある。617年創建。物部韓国連神津主命(もののべからくにのむらじかみぬし)を祀る。境内にはお船岩(おふねいわ)がある。祭神が海からこれに乗ってやってきたと伝わる。古代はここまで入江だった。神社横を流れる谷川の断崖にギボウシが群生する。6～7月にかけて薄紫の花を咲かせる。ゲンジボタルやヘイケボタルも出現する。



19 海神社・鰐岩

古代の城崎郡に唯一あった式内大社である。中世に荒廃したが、1871(M4)年に社殿が再建された。大綿津見命(おおわたつみのみこと)が、境内にある鰐岩(わにいわ)に乗って海からやってきたと伝わる。60年ごとに船渡御事(ふなとぎよしんじ)が行われる。次回は2070年に行われる。



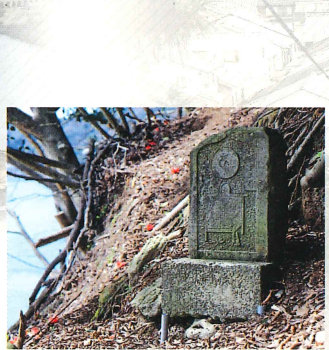
25 西刀神社・柳原神社 (お嘆きの松)

西刀神社は、西刀宿祢命を祀り、瀬戸の切戸を切り開いたのが御霊代(みたましろ)として奉納されている。西刀神社の向かいにある柳原神社には、お嘆きの松があった。1221年承久の乱で敗れた後鳥羽上皇は、隠岐の島に流された。息子の雅成親王(まさなりしんのう)は豊岡に幽閉された。日和山海岸から父のいる隠岐の島を見ようとしたが見えず、この一本松に縊って悲しんだと伝わる。



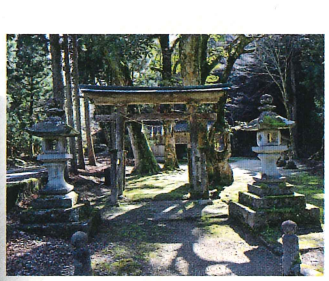
3 絹巻神社・絹巻山

但馬の国造りをした神を祀ると伝わる但馬五社明神の一つである。313年創建。天火明命(あめのひあかりのみこと)を祀る。ご神体の絹巻山には、スダジイ、アカガシ、タブノキ、ツバキ、カクレミノ、ホウライカズラ等の暖地性原生林が自生している。これらは兵庫県天然記念物である。全国的に希少なヒメハルゼミが生息する。入山は禁止されている。



9 88ヶ所巡り大師道 のぼ ぐち せきぶつ 登り口・石仏

石仏巡りができるハイキングコースとして整備され、「弘法大師ゆかりの新西国八十八ヶ所巡り」と呼ばれている。正式なルートは、田結集会所横の一番札所(石仏)からスタートして、小井戸浜古墳横の登山道を登り、ミタノ、茶園、笹山口、堂山を経て、一番札所近くの西光寺まで至る。登り口から山頂の間開広場まで徒歩45分。



15 韓国神社

武烈天皇(ぶれつてんのう)の命令で韓国(古代朝鮮)へ派遣された物部眞鳥(もののべまどり)は役目を果たし桑々浦に帰国した。その功績により韓国連(からくにむらし)を賜わった。その子渚鳥(すとり)は城崎郡司となった。渚鳥が父眞鳥を祀り韓国神社とした。次いで、渚鳥の子の連鶴(くぐい)が祖父と父を祀り、物部神社とした。明治時代以降、韓国神社に名前が変わった。



20 津居山かにのセリ場

冬になると、津居山港はズワイガニ漁で活気づく。オスを松葉ガニ(まつばかに)と呼び、メスを背子ガニ(せごかに)と呼ぶ。津居山港に水揚げされた上質な松葉ガニを「津居山かに(ついやまかに)」と呼んでいる。2月末には、このセリ場で、「津居山かにまつり」が行われ賑わう。



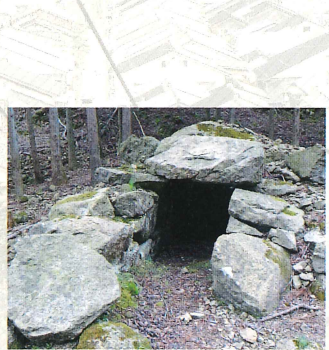
26 日和山海岸

日和山海岸は昔から、城崎温泉の入湯客が訪れる名勝地として有名であった。小説家の島崎藤村の「山陰土産」に記述がある。昔は茶屋があるだけであったが、現在は、城崎マリニワールドとして、ホテル、ゴルフ場、水族館等、海洋リゾート型遊園地がある総合リゾート地となっている。竜宮城がある後ヶ島(うしろがしま)、川瀬、漁火の風景は四季を通して風情がある。



4 気比の浜

遠浅の海水浴場で、オートキャンプ場が併置されている。1704年の古地図では、龍ヶ鼻から西側は、波が打ち寄せる荒磯で、気比川までは松林が広がっていた。その後、洲が広がり、現在の浜と浜ができた。現在の保安林は、1925(S25)年頃から1955(S30)年頃までに植林された。



10 風谷古墳・小井戸浜古墳

6C末から7C初に築造で、横穴式石室を持つ。但馬では大型の円墳である。玄室部分の天井は巨大な一枚岩が用いられ、高度な築造技術で造られている。古代に海と関わりが深かった豪族の墓と見られている。風谷古墳は1991(H3)年に豊岡市文化財に指定された。88ヶ所巡り大師道登り口には、同時期の小井戸浜古墳がある。



16 鼻かけ地蔵

「まんが日本昔話」でTV放映された、桑々浦の昔話の地蔵。昔、漁師の夢にこの地蔵が現れ、川底から上げてくれと頼んだ。地蔵を上げると、地蔵は鼻から米を出し漁師を金持ちにした。欲の出た漁師は米の量を増やすために、地蔵の鼻の穴を大きくしようと失敗し鼻を欠けた。米は出なくなった。今では願い事一つだけすると叶えてくれる地蔵として住民や観光客に人気がある。



21 石造九重塔・八幡神社

急な坂道と石段を上り八幡神社にたどり着くと、境内に鎌倉時代作と推定される高さ約5mの石造九重塔が建つ。兵庫県指定文化財。丹後田辺(現在の舞鶴)から出雲へ向かった船が嵐で津居山港に避難した。出港しようとする必ず海が荒れた。祈願すると神は、船に積む石造九重塔と浜地蔵を、津居山に祀れと言う。そこで九重塔は八幡神社に、浜地蔵は浜辺に置かれた。



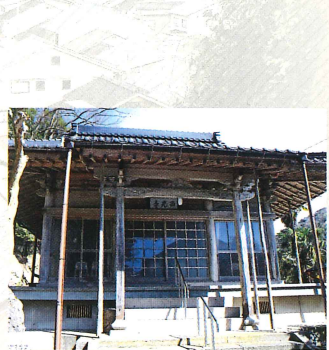
22 浜地蔵

この地蔵は八幡神社の境内にある「石造九重塔」と共に丹後の田辺(現在の舞鶴)から運ばれてきたと伝わる。傷んだ顔は北但大震災の時に身を挺して、火事を食い止め、火傷を負われたからだと伝わる。但馬六十六地蔵のうちの第五十七番目の地蔵として、多くの参拝者がある。



5 龍ヶ鼻(象岩)

龍ヶ鼻の辺りは、16C頃までは荒磯であった。この辺りの海に突き出た地形が波に侵食されたような天然の地形になった。正面から見ると、象に似た岩であるため、現在では「象岩」と呼ばれている。



11 春日曼荼羅・西光寺

春日曼荼羅と呼ばれる日本の仏教絵画は全国でも数が少ない。西光寺にその一つがある。但馬では唯一の春日曼荼羅である。鎌倉末期から室町初期の作品で、上部には現在の奈良市にある春日大社が描かれ、下部には奈良市にある興福寺諸堂の仏像が描かれている。1985(S60)年3月に豊岡市文化財に指定された。曼荼羅見学は難しい。



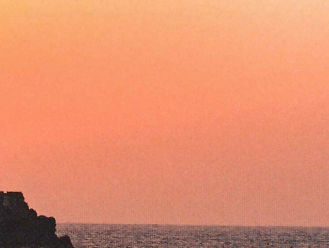
16 鼻かけ地蔵

「まんが日本昔話」でTV放映された、桑々浦の昔話の地蔵。昔、漁師の夢にこの地蔵が現れ、川底から上げてくれと頼んだ。地蔵を上げると、地蔵は鼻から米を出し漁師を金持ちにした。欲の出た漁師は米の量を増やすために、地蔵の鼻の穴を大きくしようと失敗し鼻を欠けた。米は出なくなった。今では願い事一つだけすると叶えてくれる地蔵として住民や観光客に人気がある。



22 浜地蔵

この地蔵は八幡神社の境内にある「石造九重塔」と共に丹後の田辺(現在の舞鶴)から運ばれてきたと伝わる。傷んだ顔は北但大震災の時に身を挺して、火事を食い止め、火傷を負われたからだと伝わる。但馬六十六地蔵のうちの第五十七番目の地蔵として、多くの参拝者がある。



22 浜地蔵

この地蔵は八幡神社の境内にある「石造九重塔」と共に丹後の田辺(現在の舞鶴)から運ばれてきたと伝わる。傷んだ顔は北但大震災の時に身を挺して、火事を食い止め、火傷を負われたからだと伝わる。但馬六十六地蔵のうちの第五十七番目の地蔵として、多くの参拝者がある。